

講演会開催のご案内  
「電子立国は、なぜ凋落したか」

日本の電子産業、特に大手エレクトロニクス・メーカーの衰退に歯止めがかからない。電子産業の生産額は2000年の約26兆円をピークに急減。この10年でほぼ半減した。業績悪化の結果、大手メーカーは構造改革の名の下に事業規模を縮小している。日本の経済成長を支えてきた電子産業は、なぜ、ここまでの事態に陥ったのか。電子立国の再興に光はあるのか。

元・日経エレクトロニクス編集長で技術ジャーナリストの西村吉雄氏が、政策・経済のマクロ動向、産業史、電子技術の変遷などの多面的な視点で、凋落の本当の原因を解き明かしていく。

講師 西村 吉雄 元日経エレクトロニクス編集長

開催日時 2月24日 17:00 ～ 18:45

会場 中央大学後楽園キャンパス 6号館 6410号室

キャンパスマップURL <http://www.chuo-u.ac.jp/campusmap/kourakuen/>

参加費 無料(事前のお申し込みをお願いします)

[講師略歴]

1971年 東京工業大学大学院博士課程修了、工学博士。  
東京工業大学大学院に在学中の1967～68年、仏モンペリエ大学固体電子工学研究センターに留学。この間、マイクロ波半導体デバイスや半導体レーザーの研究に従事。  
1971年、日経マグローヒル社(現在の日経BP社)入社。  
1979～1990年、『日経エレクトロニクス』編集長。その後、同社で、発行人、調査・開発局長、編集委員などを務める。  
2002年、東京大学大学院工学系研究科教授。  
2003年に同大学を定年退官後、東京工業大学監事、早稲田大学大学院政治学研究科客員教授などを歴任。  
現在はフリーランスの技術ジャーナリスト。